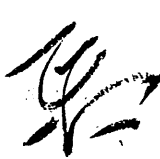












第五號

香王行保

大臣		件名		受領番號	
		安井之計外七名韓國へ聘用付		壹才八八二号	
次官		參事官		主務局長	
		主務局長 		聯帶局長 	
高級副官		主務課長		聯帶課長	
		主務課長 		聯帶課長 	
主務副官		主務課員		審案筆記者	
		主務課員 		審案筆記者 	
主計					
					
		廳名			
		統監府			

0103

副支那の統制を考へて事務課長を四谷梅
 路佐衛門とす。計案并に事務外七名を韓国政府
 へ聘用の上、度支部財務課長に任命し、長と付
 機務統制部を八二回号の計案を起し、好むがハ
 考へておて、事務課長を甘利晋吾とす。女
 子事務課長に二〇の及、津藩の事務及四谷梅

陸軍省 陸普第三二二九号

五月廿一日

送テ許す。又二〇の及、津藩の事務及四谷梅
 路佐衛門とす。計案并に事務外七名を韓国政府
 へ聘用の上、度支部財務課長に任命し、長と付
 機務統制部を八二回号の計案を起し、好むがハ
 考へておて、事務課長を甘利晋吾とす。女
 子事務課長に二〇の及、津藩の事務及四谷梅

步兵

機密統巻第八一四号

陸軍省第三第八八一號

五月十九日

軍事書第三三三號

陸軍省第四號

五月廿四日

第五八

五月十九日

豫備陸軍三等主計 石井重喜

豫備陸軍見習主計 奥小金吾

大寄新吾

豫備陸軍二等主計 内海柳之助

森平和三郎

次貴 馨

奥田 勇

村松 保彦

石安井重喜外七名共今腰韓國

0105

統
監
府

政府、聘用左記之通任命也。又度候
處御差支無之候哉。折返之何分
ノ義、海田示煩度尚右ニ干シテ、各本人
ニ於テ成規ノ手續復行可致候条
出願ノ上、至急應聘許可御取計
之上許可ノ月日御通報煩度此段及
照會候也

明治四十二年五月十五日

統監官房人書課長國分象太郎
陸軍省副官立花小一郎





聘用官廳

官

名

官等俸

給

手當金奉額

度支部

財務署主事

判任官四等八級
(俸給奉額金百八拾圓)

金四百貳拾圓

流

法部

符

0107

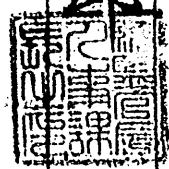
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0108

了

明治四十一年七月廿八日

統監官房人事課長國分兼太郎



七月廿八日

七月三十日

881

主計

官房

限

立名待字名多殿

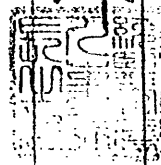
為之等町保長、通各本月十日付ヲ以テ
前照會右記之通韓國政府一聘用任命相
或候柔御了知相改度此段及通保費也

統監府

0109

明治四十二年七月廿八日

統監官房人事課長國分象太郎



七月廿八日

主君陸軍省為友殿

外記 在丹多美公之名本月八日付ヲ以テ

前巡會在之通韓國政府一聘用任命相
或候系御了知相改度此段及通保莫也

統監府

887

0110

統
監
府

後備陸軍少佐 丹井 重吉
 後備陸軍少佐 奥 小吉
 全 大崎 新吉
 全 麦平 和吉
 以上

0111

軍事

新井

主計

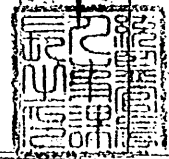
明治四十二年六月廿四日

統監官房人事課長國分兼太郎

陸軍省副官立花小一郎殿

豫備陸軍等計于内海柳之助本月十九日付ヲ以テ
前照會左記之通韓國政府一聘用任命相
或候系御了知相成度此段及通保妻也

六月廿九日



統
監
府

補任

主計

軍砲

軍事

新

明治四十二年六月十五日

統監官房人事課長國分兼太



六月廿六日

之先陸軍省長友殿

後佈陸軍省令于奥田勇本月九日付ヲ以テ
前照會左記之通韓國政府一聘用任命相
成候条御了知相成度此段及通保美也



統
監
府

0113